

横山 操 初期作品展

若き日の操「初出本画と下図」

2011年9月2日(金)～9月19日(祝月)

会場：燕市産業史料館 企画展示室

横山操画伯は燕市の名誉市民であり、戦後を代表する日本画家の一人でもあります。横山は最初洋画を志したが転向し、川端画学校で日本画を学び、のちに豪放な作風で多くの意欲作、話題作を発表しました。

今回の展示は昨年の「デッサン展」の続編となる内容です。操の甥にあたる横山一男氏から寄贈を受けた作品群からのもので、修復が必要とされていた本画（5点）がメインとなります。横山が20歳のとき、青龍展に初入選した「渡船場」と現在まで未発表だった作品4点の初公開です。その中には昨年展示した下図で、着物を着た女性と同じモデルと思われる本画があります。それと、「渡船場」の下書きとも思える小さい画もあり、それらの比較などもご覧いただくことができます。

横山が絵を学んでいた時期の作品ですが、しっかりと基礎を勉強されていたことがわかります。のちに日本画壇に新生をもたらすこととなりますが、この作品群からはその出発点となる若き日の息吹を感じることができます。

寄贈された横山一男氏によると、これらの作品は戦後シベリアから帰国した作者のもとへ送ることになっていたが、何らかの事情で届かなかったものだそうです。幸運にもこの世に残り、故郷である燕市で保管することとなりました。

作品修復を担当されたのは多摩美術大学の中野嘉之教授です。中野教授は横山操画伯の弟子であり、作者をよく知っておられる中で作品の本質を見抜き、誠意のある適切な修復をしていただきました。

会期/9月2日(金)～9月19日(祝月)

休館日/9月5日(月)・9月12日(月)

開館時間/9:00～16:30

入館料/大人300円・小人100円

※土曜日、日曜日、祝日、燕市内の小中学生無料及び付添保護者1名無料。

事務局/

〒959-1263 新潟県燕市大曲 4330-1 燕市産業史料館

T E L /0256-63-7666 F A X /0256-63-7669

主催/燕市・燕市教育委員会

史料館ホームページ/

<http://www.city.tsubame.niigata.jp/info/shiryou/index2.html>

mail アドレス/

sangyoshiryokan@city.tsubame.niigata.jp

※掲載の画像を含む高解像度画像は史料館にお問い合わせください。



横山 操 画「画題不明」年代不明

横山操初期作品展 解説会

作品解説会を行います。

期 日 / 9月4日(日)

時 間 / 午後2時から

講 師 / 中野嘉之(多摩美術大学教授)

場 所 / 燕市産業史料館 企画展示室

入館券のみ必要(予約不要)

横山 操 略歴

- 1920年 燕市(旧吉田町)に生まれる
- 1934年 画家を志して上京
- 1938年 「街裏」が第25回光風会展に初入選
- 1939年 日本画に転向。川端画学校に入学
- 1940年 「渡舟場」が第12回青龍展に初入選
- 1940年 招集され中国大陸各地を転職
- 1945年 終戦と同時にシベリアへ抑留される
- 1950年 帰国して再び上京
- 1962年 青龍社を脱退
- 1966年 多摩美術大学の日本画科教授となる
- 1971年 脳卒中で倒れ右半身不随に
- 1973年 制作中に再び脳卒中で倒れ死去
- 2000年 旧吉田町の名誉町民に